

平市 の 輪廓



社子社神倉社



縣八幡社



澤村公墓



石普觀堂



松ヶ園忠魂碑



舊正日市

■ 位置と鳥瞰圖
本市は福島縣の東南、東太平洋と、西開拓井農業の間にあり。夏井川は市の中央を貫流して東南太平洋に入る。海拔凡そ十四メートルの沃土と水利に恵まれた都會で、もと飯野平と云つたもの今は平である。人口三万三千、四通八達の國道と、鐵道と又自動車網の競争に四方から集散する旅客物資の権柄や、人口の増殖や、郵便電信の繁栄、商工業の殷盛それから貿易いはその炭礦等の背景は、東海岸七百餘海里水路港と相俟つて將來大事業會社の勃興を促し、且子計画中の大半都市建設へと邁進しつゝある。

一名、海岸線である。郡山と同じく、東北鐵道の交叉點で、近來本省の理想スピード化が實現されるれば東京一平間二五秒を僅々三時間に短縮させ、「行こか仙臺、歸るか東京」の唄も若當前のことならう。

特 微

東北の大坂と稱はれる市民の激昂なる氣分と、住み易い精神性と、低廉で、毎日口にせらるゝ七百の鮭魚のかずりに、釋前は、海と山の行業や、商取引の人々の往来するさて、仙臺以南之の綫唯一の乘降數字である。

臨時列車

旅客吸收、説教策として、海水浴、小名浜、四倉、豊間の鷺鳴と紅葉、開拓井鐵道日と、名物公踏とちやんがふ公踏等々、各に力を入れて、丹後なる者、舞工の茶堤に、畜生人柱に立つたと謂ふ劇的なもの、今は十分の一に縮少した湖面の上を、モダンな白いボートが闊のやうに浮いてゐる。湖畔の文化住宅が翠島の中から、瀟洒な橋脚を隱見させる處、スイーフ湖畔を傳はせるものがある。

街 案 内

一名、丹後源。小名浜、四倉、豊間の櫻、夏井鎗、平公園の櫻、夏井鎗、高麗橋、丘から丘へ、中天に架けられた詩の橋として、そのけやきの姿は、市の名所の一となつてゐる。縣立高等女學校、青年學校、佐賀學舎、等がこの丘の、あちらこちらに。

高麗橋

高麗橋と紅葉、開拓井鐵道日と、名物公踏とちやんがふ公踏等々、各に力を入れて、丹後なる者、舞工の茶堤に、畜生人柱に立つたと謂ふ劇的なもの、今は十分の一に縮少した湖面の上を、モダンな白いボートが闊のやうに浮いてゐる。湖畔の文化住宅が翠島の中から、瀟洒な橋脚を隱見させる處、スイーフ湖畔を傳はせるものがある。

配水池

谷の鷺鳴と紅葉、開拓井鐵道日と、名物公踏とちやんがふ公踏等々、各に力を入れて、丹後なる者、舞工の茶堤に、畜生人柱に立つたと謂ふ劇的なもの、今は十分の一に縮少した湖面の上を、モダンな白いボートが闊のやうに浮いてゐる。湖畔の文化住宅が翠島の中から、瀟洒な橋脚を隱見させる處、スイーフ湖畔を傳はせるものがある。

花の色

土にや筋の根が深い

朝夕の時を報へ、警報にも役立つといふ城山の鐘樓は、古風な餘韻を嫋々と曳く、市民のなつかしいもの、一。

高麗橋

高麗橋と紅葉、開拓井鐵道日と、名物公踏とちやんがふ公踏等々、各に力を入れて、丹後なる者、舞工の茶堤に、畜生人柱に立つたと謂ふ劇的なもの、今は十分の一に縮少した湖面の上を、モダンな白いボートが闊のやうに浮いてゐる。湖畔の文化住宅が翠島の中から、瀟洒な橋脚を隱見させる處、スイーフ湖畔を傳はせるものがある。

花の色

花の色は紫ゆかりの色よ。
土にや筋の根が深い

鐘樓

朝夕の時を報へ、警報にも役立つといふ城山の鐘樓は、古風な餘韻を嫋々と曳く、市民のなつかしいもの、一。

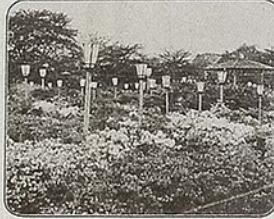
花の色

花の色は紫ゆかりの色よ。
土にや筋の根が深い

花の色



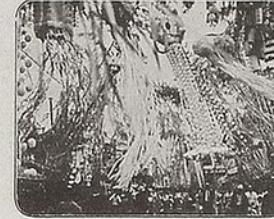
新川堤ノ櫻



公園湖畔ノ春色



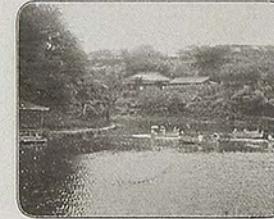
松ヶ岡公園ノ春色



平名物祭夕



平夜盆踊



丹後澤

の中央、思ひ／＼の假装よろしく唄に歌いぬく街の老弱男女の盆踊りは、天下御免の街の大通りを人どめにする。鐵道局は臨時列車を出し、驛前や街の要所／＼に高やぐらを組んで大太鼓を叩き、歌やかに、夜を徹して之らの郷土藝術を廣く紹介する。

※お三夜まつり

毎月二十三日の夜の祭りお三夜の雅閑は、毎日の無い市民には唯一の慰安である。時に餘興も混ぜて衆客を喜ばせるのに如才がない。

近年頃に勃興した七夕祭は、全市街を五彩の流風に浮立たせ、ネオンの光りと相映發する龍宮の眺めは、遂かに名所仙台を凌ぐ盛観である。

七夕唄（その一）

千里通ら／＼五色の風は
晴れて大空星祭
黒の船つなぎ千羽鶴

※二日市

商人街と云はれる平市商人の、利益を度外視した、景品付きの大安賣市であるだけ、毎年の大通りを動きもなぬ有様に沈没する。

※波立葉節……四倉、久之濱間にある寄宿林立と、山なす経済の壯觀、鈴が瀬と大同間御殿大師の建立した幽遠な風景有名がある。

※塙屋崎燈台……最間村の突角、岩頭百尺の上に屹立する眞人のやうな白堊の建物は最新式二等報知台、夜など照す十万燐光は海上を百浬、常に海のSOSを發成する絶景である、自動車で十五分、嚴重の筆を偲ばせる千本松原と、銀のやうな白砂の眺めは始はがき以上である。

※沼の内……漁業を絶つ盡境、排財天賀沼の群魚の餌れは別界の趣さである。

※薄瀬海岸……には東岩、奥の河原、伊鬼道の奇勝がある。

※新舞子……東日紙の日本百景に入選せしもの、更に國立公園の候補地として紹介されてゐる、自動車で十五分、嚴重の筆を偲ばせる千本松原と、銀のやうな白砂の眺めは始はがき以上である。

※鹽問……海水浴場は、燈台脚下の自然岩の防波堤に人工を加へて完璧となるるもの、縣下理想的の浴場である、旅館所同院が茲に選ばれたのも偶然でない。

※江口名町……大通りの人家の軒下に怒濤を見る江名濱の男性的な情調は、豪快で活達な地色を充分に見せてゐる、漁場の發展振りから、福利施設、各種の組合等の文化的なもの唯の特徴である。

※中の作……江戸時代に船着場の豪傑で鳴らした地、それを物語る枝様の存在は、明治時代まで残存した、最近深港完成で、更に将来性のあるを確認された。

※泉海岸……有名な釜戸神祭の海中御渡て知られる景勝の地、更に残見山と、懸崖の絶景を控へてゐる、蹕から自動車で十分計り。

附近（山の部）

※夏井鎧谷（臨時列車）

一名耶馬翁の名により日本百景に挙するもの、初夏の新緑に交織する岩つゝじの眺めは、超景と稱され、秋は瀬山に燃ゆる紅葉は車窓の名勝である、其の長瀬に嵌ふ長垣曲折、數里に跨る谷底に、涼々の谷れがあつて更によい。大町桂月の和歌

散りはてゝ桔木ばかりと思ひりを

日々入りて見ゆる谷のもみじ葉

※開伽井嶺（臨時列車）

千年前の物語を有つ且利、水品山密藏院常福寺、一名赤井鎧谷樂師は東北隅二の靈場、名物の舊八月の餘暉には、靈験あらたかな安達守と縁結びて、遂か開闢、東北からの参詣者が、晝夜二日は山を埋める、山上剣舞七段、三大岩磯、及び平市一圓を双眸の中に人れど、去歲失火に本堂を失ふたが、目下復舊の工を急ぎ、遠からず倍舊の像貌を見られやう。

◎こされ赤井鎧ナ！　お樂師まあり

龍燈見たさに　鹿と添寝の浮名どり。

※磐城の諸勝地

三天岩磯の有つ財的強味は偉大である、貨物輸送が日本一であるのも、六万人の岩磯街の集團が示す力である、いづれも最新式設備と、文化的施設により、軍工の波に柔軟な生産能率は、最全盛期を見るの盛況にある。

小唄

○赤井霞め大山祭り

山じやボイラで酒わかす

有封に入山 調子の好間　いはき音頭で夜を明す。

※國寶白水阿彌陀堂……絶頂から自動車で十分、國寶行基作の佛像がある。

※長友地藏堂……大浦村長友寺にあって阿彌陀作の佛像がある、自動車で十分

※如來寺……國寶の佛像にて有名（自動車十五分夏井村）

※專稱寺……茨城總木山（如來寺附近）

※藥王寺……佛像を藏す、草野原から二里、大野村藥王寺、自動車二十分

※溫泉とこ／＼　神白温泉、小名浜に近い山の手、浴客常に百人を下らぬ。

ロ、草子、泉跡より半里、近代的鐵道設備あり。

ハ、玉山、四倉驛より十分、古い温泉の名がある。

ニ、萬葉、綾り二十分、出の湯入りの湯、何れも森閑たる深山の風景を味ふに足る

ホ、小瀧、近來めき／＼モダンな設備で名をあげてゐる。

ベ、老の湯、これも古い傳統の香りがある。

※小名瀬……その殷盛は磐城七浦の筆頭、第二種重要港灣であり、都市計画、都市計画、港湾法とともに海水浴場としても其の筆頭は躍進的である。

※四倉町……夏は海濱を眞里に埋める浴客と、正月の奇遇火打合の珍風景と、

磐城セメント会社や、祐天夫人の墓で名高い最勝院と、寺院の駐車が見難とされてゐる。

| | |
|---------|-------|
| （監製） | （販賣） |
| 原島製作所 | 鈴木一榮社 |
| 印刷所 | 鈴木一榮社 |
| 菜進堂 | 鈴木一榮社 |
| 東洋本舗販賣所 | 鈴木一榮社 |

昭和十一年六月一日發行

平市役所

平市と附近景勝案内

